



平成22年

あながわはなぞのようちえん

今月の「ののさま」のことは

わけんあいこ
和顔愛語

1月号



園だより

誰にでも、やさしいまなざし、やさしいことばを！

あけましておめでとうございます。
ことしもどうぞよろしくおねがいします。
平成22年

教職員一同



今月の予定



日	曜	活動内容	保育	体操教室			給食
				長	中	少	
8	金	始業式	半日				
9	土		休園				
10	日		休園				
11	月	成人の日	休園				
12	火	バザー品収集 年長組卒園アルバム写真撮影	一日	○		○	
13	水	年長組インターナショナルプール・参観 バザー品収集	一日				
14	木	年中組お茶のお作法・避難訓練	一日			○	
15	金		一日	○		○	
16	土		休園				
17	日		休園				
18	月	年長組お茶のおけいこ	一日				
19	火		一日		○	○	
20	水	年中組インターナショナルプール・参観	一日				
21	木		一日			○	
22	金	行事前保育	半日				
23	土	おさらい会1部・2部	半日				
24	日	おさらい会3部	半日				
25	月	24日の振り替え休園	休園				
26	火	身長・体重測定	一日	○		○	
27	水	1月生れのお誕生会 午後1:00~	一日				
28	木		一日			○	
29	金	行事前保育	半日	○			
30	土	くすの木まつり	半日				
31	日		休園				

【バザー品収集日】

保護者の会主催のビッグイベント、「くすの木まつり」が30日（土）に開催されます。子どもたちも楽しみにしていることと思います。

については、12日と13日の2日間、バザー品の収集をしています。運営される方のことを思って、期日は守りましょう。

【プール参観について】

各学年の日。10:30~11:20の間。他のレッスンの方がいらっしゃいますので、静かにお願いします。なお、ビデオ・写真（携帯電話も）撮影はできません。

参観のための駐車場はございませんので、お車はご遠慮ください。



くすの木まつり

くすの木まつりは、保護者の会主催の行事ですが、園行事として全園児、お家の方と出席していただきます。当日は、午前11時から開催で、園バスの運行はありませんので、あらかじめお知らせいたしておきます。なお、くすの木まつりの詳細は、後日あらためてご案内いたします。

【年長組の卒園アルバム写真】

12日（火）、年長組全員の個人写真とクラスの集合写真を撮影します。できるだけ、欠席しないようにお願いします。

当日は、通園帽をかぶっての撮影となりますので、髪型にご注意ください。また、フードのある服は望ましくありませんので、避けてください。



今月の保育

単元	保育のねらい	活動	予想される子どもの状態と対応
年長組	・今まで取り組んできたことを、一生懸命発表する。	「おまたせしました！ 『おちゃめ劇団』開演です！」	「おさらいかいがんばるぞ！」の意識が高まります。その中で、自信と友だちへの連帯感や優しさも、お互いに言葉に出して大切にしていきたいと思います。また、年が明け、学校へのプレッシャーや戸惑いも見逃さないでしょう。大人が心配ばかりせず、温かい言葉や準備を心がければ、子どもは自ずと前向きに成長するものです。
	・自分の思いを言葉で伝えることを、意識して行う。	「皆に、「気持ちを届ける年長屋！」	
年中組	・寒さに負けず、戸外で体を動かして楽しむ。	「作って遊ぼう！ 『フライパン羽子板』」	「おさらい会」「お当番活動」などの楽しみの中で、自己表現力や自信、度胸が身についてきます。それらをのびのび伸ばしながら、「友だちと一緒にする事って楽しいなあ！」と思い、友だちの気持ちを考える機会にもなるでしょう。自己表現と友だちへの優しさを言葉に出す事で、それらの思いに気付けるよう援助しましょう。
	・友だちと一緒に、張り切ってお当番活動に取り組めるようにする。	「初めてのお当番、がんばるぞ！」	
年少組	・友だちを誘ったり、自分の思いを伝えたりしながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。	「ほくも私もはりきって、 “みてみて、発表しま〜す！”	温かな家族や大人たちに囲まれた冬休み明けは、ちょっと甘えん坊に……。数日間、登園もおっくうかもかもしれませんが、お友だちや先生のお顔をみたら誰もが「あそびたいモード！」に変わります。仲間と一緒に遊んだり生活する楽しさを体験することで、関わり方や自立心を育てよう、上手な応援、援助をしましょう。
	・園生活のリズムを取り戻し、冬の季節の遊びに興味を持つ。	「できるよ！できる！ “一人で”できる！！」	



寅年、おやじの子育て

あけましておめでとうございます。ご家族そろって、新しい年を迎えられ、こころからお喜び申し上げます。

世の中不景気と言われ、今年のお正月休みは「巣ごもり型」とテレビで言っていました。コタツに入って、テレビを見ながらおせち料理やおもちを食べすぎてブタになったり、お酒を飲みすぎてトラになったりしなかったでしょうか。

酒飲みのトラは、酔ってガオガオうるさいのですが、本物の虎の咆哮は背筋が凍りつき、鼓動が早鐘のようになるほどの恐ろしさがあるのだろうと想像に難くありません。



私が子どもの頃、近所にはひと声で子どもが恐れをなすような親父がうようよいました。有刺鉄線をくぐって沼で釣りをしていれば、遠くからでも怒鳴りつけられました。田んぼに干してある稲のところでかくれんぼをしていても怒られました。缶けりで垣根をくぐりぬけたりしただけでも、「コラッ」とききました。柿や栗取りなんていったら、もってのほかでした。

でも、虎の咆哮を発するような親父たちでも、餅つきやみそ造りの時にはいたずらっ子の顔になりました。つきたてのおもちをこっそり食べさせてくれたり、ゆでて柔らかくなった豆をつまみ食いさせてくれたりしました。

怒るととてつもなく怖い親父たちでしたが、そんな親父たちを子どもたちは大好きだったような気がします。

最近では、友だち父さんなんていって、子どもと友だちのように接する父親が多くなっていると言われます。それをすべて否定する気はありませんが、子どもたちの成長にとって怖いものは欠かせない気がするのです。怖い親父はじめ、嘘をついたら舌を抜いてしまうえんま様、泣く子はイネガアッと迫るなまはげなど、良い子になるために欠かせない存在でした。私が子どものころに恐ろしかったのは「ふーさぶるー」でしたが、そのお話は次の機会に……。

そこで今年は寅年。友だち父さんを返上して、たまには虎の咆哮を発する親父になってみてはどうでしょうか。きっと親父の威厳に恐れをなして、良い子に育つはず。それが親父の子育てと言えるような気がします。

【あおぞら号の運転士さん】

2学期の末に望月先生が、急に依願退職しました。急なことで、お知らせが後になり申し訳ありません。後任は、菊間茂忠先生です。冬休み中にコース試運転なども済ませ、万全の態勢で3学期初めより運転をいたします。元県警勤務で、“子どもを交通事故から守りたい”思いに溢れた方です。よろしくおねがいいたします。